

(一社) 日本建築学会九州支部 11 月支部役員会議事録

日時：2017 年 11 月 21 日 (火) 14:30～17:50

場所：九州大学工学部建築学科旧館 (4 階 401 会議室)

議事録担当：川井常議員

出席者：菊地支部長，城戸総務幹事，佐藤総務幹事，松尾学術幹事，花井学術幹事，中村会計幹事，柴田 (桂) 会計幹事，川井常議員，柴田 (晃) 常議員，源城常議員，中田常議員，事務局 伊地知 (敬称略)

I. 前回議事録確認

1. 7 月支部役員会議事録 (案) (花井学術幹事) メールにて送付済み
2. 10 月幹事会議事録 (案) (佐藤総務幹事) メールにて送付済み
議事録案が承認された。

II. 審議事項

1. 第 19 期代議員および 2018 年支部役員 (常議員) 候補者について 資料- 1, 参考資料- 1
・支部締切：2017 年 11 月 30 日 (木)，本会締切：2017 年 12 月 10 日 (城戸総務幹事)
資料 1 のとおり、代議員 5 名、支部常議員 6 名の候補者が提示され、承認された。
2. 2018 年日本建築学会大賞業績候補の推薦依頼について (城戸総務幹事)
・支部締切：2017 年 10 月 4 日，本会締切：2018 年 1 月 19 日
・推薦なし
推薦なしを承認。
3. 2018 年日本建築学会文化賞候補業績の推薦依頼について (城戸総務幹事)
・支部締切：2017 年 10 月 4 日，本会締切：2017 年 12 月 11 日
・推薦無し
推薦なしを承認。
4. 2018 年日本建築学会教育賞 (教育業績) 候補業績の推薦依頼について (城戸総務幹事) 資料- 2
・支部締切：2017 年 9 月 21 日，本会締切：2017 年 10 月 6 日
・推薦 1 件 (環境工学委員会尾崎委員長より)
環境工学委員会から推薦のあった藤本一壽先生を支部から推薦したことが説明され、追承認された。
5. 建築九州賞「業績賞」の推薦について (城戸総務幹事)
・支所及び研究委員会からの推薦締切：2017 年 10 月 4 日
・推薦なし
推薦なしを承認。
6. 建築九州賞「功労賞」の推薦について (城戸総務幹事) 資料- 3
・支所及び研究委員会からの推薦締切：2017 年 10 月 4 日
・推薦なし
・支部は本年度，(株) 梓設計九州支社，(株) 国健，上村建設 (株) の 3 件を推薦。
支部の推薦について、賛助会員の企業から 3 件を推薦したことを追承認。
7. 建築九州賞「研究新人賞」候補の選考・推薦依頼について (松尾学術幹事) 資料- 4
資料に基づき、研究新人賞について、2018 年 3 月 30 日までの候補者選考と、それに先立つ 2018 年 2 月末までの選考方法の内規の報告を、各研究委員会に求めることが説明され、承認された。
8. 支部長賞の推薦依頼について (城戸総務幹事) 資料- 5, 回覧- 1
・規程及び推薦依頼校の確認
・フォーマットと副賞 (賞状ホルダー) について

資料に従い規定と推薦依頼校が確認された。またフォーマットと副賞が回覧され承認された。

9. 2017年度日本建築学会九州支部研究発表会について

- ・設計競技表彰式・講演会・懇親会・研究発表会について（花井学術幹事） 資料- 6
- ・付随行事 1月号会告（11月30日締切）（花井学術幹事）

上記2点について、資料を確認した。また現地の柴田常議員から補足説明があった。

- 補足説明：会場構成、控室などの補足説明がなされた：環境工学が2棟に分かれるなど。
- 補足説明：日建学院と総合資格学院の協賛申込みを了承した。
- 会告に「未定」と記載のKIM先生の講演タイトルについては柴田常議員が確認する。
- KIM先生の交通費、宿泊費を支部で負担することを承認。
- 榎先生のプレミアムクラス利用を承認。
- 研究発表会と講演会の2種類のポスターを作成する方針を承認。
- 会告の付随行事4の文章中（資料6-1,6-2）、および研究発表会ポスター中（資料6-4）の「研究集会」を「研究者集会」と修正する。
- 榎先生の講演会は400人収容の「講堂」を会場とするが、日韓国際交流講演会は100人程度の会場とする方向で検討することを承認。

- ・研究報告集CD-ROMの見積もりについて（松尾学術幹事） 資料- 7

資料の見積書について、昨年からの変更点として、目次の版下原稿の作成について、学術幹事が取りまとめていたものを、本年度は業者に依頼することの追加分が変更であり、それ以外は前年度と同様であることが説明された。資料のとおりで見積書が承認された。

- ・プログラム編成作業の手順と日程（松尾学術幹事） 資料- 8
- ・プログラム編成委員の推薦依頼（松尾学術幹事）

この2項について資料8-1,8-2が説明され、承認された。

- ・プログラム編成作業負荷軽減について（松尾学術幹事）

研究報告集の目次原稿作成作業が従来から学術幹事とプログラム編成委員の大きな負担となっていたことが説明され、業者への委託が提案された。従来の作業の中で作成されるプログラム編成用論文データベースに、資料8-3に示す簡単な加工をすることで、業者が以後の作業を受託できることで、本年度から委託する方向で検討を進めている旨が説明された（資料7の審議でこの点は承認済み）。

委託した場合の目次原稿の様式について、資料8-4で案が提示され、c案が承認された。

- ・研究者集会について（松尾学術幹事）

日時：3月4日（日）12:50～13:20、会場：鹿児島大学

この時間中に付随行事4「設計競技展示会」の表彰も行うことが会告に掲載されているので、時間配分を検討する必要がある。

- ・教室割りについて（松尾学術幹事）
（資料6-1の審議で検討済み。）

10. 大韓建築学会釜山・蔚山・慶南支部との学術交流について

資料- 9

1) 日韓国際シンポジウムについて（城戸総務幹事）

資料9に基づき説明がなされた。招聘の交通費・宿泊費の扱いについて、申し合わせの文言が不明確なため、協定更新時に見直しを検討することとした。今回のシンポジウムについては、Kim先生は交通費・宿泊費とも支部で負担するが講演料は支払わないこととし、他の招聘者については今後メール等で確認することで承認された。

2) 韓国訪問について（城戸総務幹事）

- ・11月10日、11日 釜山

菊地支部長、佐藤総務幹事が訪問した旨、報告された。

3) 協定更新について（菊地支部長，城戸総務幹事，佐藤総務幹事）

5年毎の更新であり、3月の支部研究発表会の機会に更新手続を行う方向で検討することが承認された。協定書への署名は、国際交流講演会の開始前の時間帯に、控室など小部屋を使用して行う案が出された。協定書と協定書のファイルは九州支部で準備する。

11. 2018年度日本建築学会支部研究補助費の申請手続きについて（城戸総務幹事） 資料-10
・担当委員会：歴史・意匠委員会 参考資料- 2
例年、各研究委員会が輪番で申請をしており、来年度は歴史・意匠委員会であることが説明され、承認された。
12. 2018年度日本建築学会九州支部研究発表会の開催地等について（城戸総務幹事） 資料-11
・開催候補地：大分（次候補：熊本），開催月：2019年3月
・今後のローテーション予定について
資料11に基づき説明がなされ、2018年度の開催地が大分に決定された。また、今後のローテーションについて確認された。
13. 2018年度支部共通事業設計競技の支部審査員・全国審査員について（松尾学術幹事） 資料-12
・2年任期，4名（支部）の後任を決める必要あり
※旅費について配慮した人員配置が望ましい
資料12-1（支部4名），12-2（全国1名）の審査員案が提示された。支部審査員案の趙先生には、次年度の支部審査員全員が未経験者となる事態を避けるため3年目を依頼し内諾を得た旨、また、このほか留任の1名と新任の3名は内諾済みである旨が報告された。支部審査員の5人目については九州大学芸術工学部の鶴飼先生に依頼するものと決定した（付記：翌日、内諾が得られた旨の報告がなされた）。
審査員の選出について、輪番や旅費等ではなく、年度毎の設計競技のテーマに応じた審査員を選ぶべきではとの意見が出された。2年任期にこだわらず、半数をテーマに応じた1年任期の審査員を選出する案が出された。これについて、今後検討していくことが了承された。
14. 2018年支部文化事業企画委員会の委員について（城戸総務幹事） 資料-13
・担当：2018年 福岡支所（岡田支所長），2019年 大分支所（井上支所長），
2020年 鹿児島支所（本間支所長）
2018年について、資料13に提示されたとおり、岡田氏とその推薦者2名の委員が承認された。2019年と2020年の担当支所について確認された。
15. 2018年度事業計画案・予算案の策定方針について（支部長・総務幹事・会計幹事）
資料-14，参考資料- 3
資料14が示され、方針を確認した。（3）の大韓建築学会との交流について、交流が形式的になっているのではないか、共通テーマを掲げたイベント開催の可能性はないか、との意見が出された。（この意見はIV 懇談事項2で関連して議論された）
16. 2018年度事業計画案について（城戸・佐藤総務幹事） 資料-15，参考資料- 4
・2017年12月下旬 本会提出予定
資料15により説明された。訂正項目として、「講演会、シンポジウム、研究会、その他事業」中の「熊本地震1周年報告会」の削除、「教育文化事業」中の「佐賀支所」を「福岡支所」に訂正の2点が指摘された。
17. 2018年度予算編成に伴う支部費等交付金の照会について（柴田会計幹事） 資料-16，参考資料- 5
資料が提示され確認された。
18. 2018年度予算案について（柴田会計幹事） 資料-17，参考資料- 6
・2018年度九州支部研究委員会経費配分（案）について
・2017年12月幹事会後 本会提出

資料が提示され確認された。

19. 事務局員の次年度給与について（柴田会計幹事） 資料-18(別添資料) , 参考資料-7(別添資料)
資料のとおり承認された。
20. 支所活動費用の精算について（城戸総務幹事） 資料-19
資料が説明され、通帳等の必要書類が確認された。年度毎の支所活動費用の精算については、九州支部では昨年度から実施しており問題ないことが説明された。
21. 九州支部基金実施報告について（城戸総務幹事） 資料-20
実施報告書が提示され、承認された。
22. ヤマト運輸運送料値上がりについて（事務局伊地知） 資料-21
資料が確認された。
23. 女性会員の会第4回サムライ女子に聞く「楽しくやろう建築設計」（城戸総務幹事） 資料-22
第4回（実施済み）の実施計画書が提示され追承認された。実施内容が報告され、確認された。
24. 福岡県ブロック塀等安全対策推進協議会（城戸総務幹事） 資料-23
2017年10月19日に開催され、九州支部から菊池健児先生(大分大)が参加した旨の報告がなされた。来年度は黒木正幸先生(大分大)が参加する予定であることが報告された。
25. 後援依頼について（3件）（城戸総務幹事） 資料-24
・FAF スクール第1回「近現代建築の利活用とまちづくり」（NPO 法人福岡建築ファウンデーション）
・あまみずコーディネータ養成講座（あまみず社会研究会）
・コンクリート構造物における品質を確保した生産性向上に関する提案講習会（日本コンクリート工学会九州支部）
3件の後援について承認された。（あまみず社会研究会以外は追承認）
26. 法人会員（九州支部助成）の退会について（城戸総務幹事） 資料-25
資料の退会届について確認された。
27. 支部共通事業「建築工事標準仕様書 JASS6 鉄骨工事ならびに関連指針」改定講習会 資料-26
・2018年1月31日（水）アクロス福岡 の開催日程について（城戸総務幹事）
・支部役員挨拶，司会，アルバイト2名の選出
・アルバイトは2日間，1/30（火）18：00-21：00，1/31（水）8：45-17：15
資料に基づき内容が説明され、進捗状況の報告がなされた。役員挨拶、司会については、松尾学術幹事あるいは城戸総務幹事が担当し、アルバイトについては九州大学の学生に担当いただくことで確認された。
28. その他（城戸総務幹事）
 - 1) 旧安川邸内「洋館棟」保存要望書に対する意見 資料-27
学会本部に届いた北九州市民からの意見のメールを確認した。
 - 2) 旧安川邸内「洋館棟」保存要望書ならびに調査委託契約について 資料-28
両件について、菊地支部長と佐藤総務幹事により、木島・尾道両先生にヒアリングを行った結果、どちらも特段の断る理由はないため、要望書の提出と委託契約の両方を行うことで承認した旨が報告された。委託契約については受託の主体が九州支部であるため、歴史・意匠委員会が会計検査役をたてて支部役員会に会計報告を行うことを、歴史・意匠委員会の渡邊委員長に要請することが諮られ、承認された。
 - 3) 作業マニュアル（案） 資料-29
支部役員の方々の業務について、任期2年の役員の方々の作業引き継ぎを円滑化するための作業マニュアル作成が急務であることが説明され、その例として「女性会員の会の開催手続」について、城戸総務幹事がマニュアル作成を試みた案が提示された。日韓国際シンポジウムはマニュアルがとりわけ重要な企画と考えられ、本年度の開催時にマニュアル作成を試みる事が提案された。

Ⅲ. 報告事項

1. 本部関係報告

- (1) 9月理事会報告（菊地支部長） 資料-30
支部として~~川川邸~~川川邸関連の報告を行ったことが報告された。

2. 支部関係報告

- (1) 7月・8月・9月・10月の支部事業報告について（城戸総務幹事） 資料-31
資料に基づき報告がなされた。
- (2) 7月・8月・9月・10月の支部会計報告について（中村会計幹事） 資料-32
資料に基づき報告がなされた。
- (3) 「作品選集 2018」九州支部審査結果について（松尾・花井学術幹事） 資料-33
・支部応募件数 36 件，支部推薦 14 件，本会入選 9 件
資料に基づき報告がなされた。
- (4) 支部共通事業設計競技について（松尾学術幹事） 資料-34
1) 2017 年度「地域の素材から立ち現れる建築」本会審査結果
支部推薦 14 件中 優秀賞 1 件（九州大学），佳作 1 件（ARAY Architecture），
タジマ奨励賞 2 件（熊本大学）
資料に基づき報告がなされた。
- (5) 2018 年度大会研究集会のテーマ立案依頼（松尾学術幹事）
・支部締切：2017 年 9 月 21 日，本会締切：2017 年 9 月 30 日
・提案なし
提案無しの旨が報告された。
- (6) 2017 年度日本建築学会九州支部研究発表会募集要項・発表要項等（松尾学術幹事） 資料-35
・研究報告募集は会告掲載済み（建築雑誌 10 月号）。HP 公開(10/6)済み
資料に基づき報告がなされた。
- (7) 建築九州賞「作品賞」について（松尾学術幹事，志賀作品賞運営協議会幹事） 資料-36
資料に基づき報告がなされた。
- (8) 第 2 回 2017 年度支部費等の交付金送金のお知らせ（中村会計幹事） 資料-37，参考資料- 8
・合計 1,145,250 円
資料に基づき報告がなされた。
- (9) 2017 年度支部会計上半期の予算執行状況について（中村会計幹事）
口頭で説明された。
- (10) 日本建築学会建築文化事業（城戸総務幹事） 資料-38
1) 「建築文化週間 2017」（10/7, 10/28）
2) 「親と子の都市と建築講座」（11/28）
資料に基づき報告がなされた。
- (11) 2017 年度日本建築学会大会（中国）頒布資料販売精算報告について（城戸総務幹事） 資料-39
資料に基づき報告がなされた。
- (12) 2018 年度九州支部通常総会の日程等について（城戸総務幹事） 参考資料- 9
・日程 2018 年 5 月 19 日（土）（会場仮予約済み）
資料に基づき報告がなされた。総会には学会長が出席する予定。11 時開始の案に対して、11 時
30 分開始とする方向で検討することとした。
- (13) 今後の幹事会・支部役員会の日程確認（城戸総務幹事） 資料-40
12 月の幹事会日程を 12 月 26 日（火）に変更すること、3 月 14 日の役員会は支部を会場として
15 時 30 分開始とすることが確認された。
- (14) その他（城戸総務幹事）

1) 寄贈図書

回覧-2

- ・デザインレビュー2017 (デザインレビュー2017 実行委員会)
- ・2017 年度大会(中国)大会プログラム (日本建築学会)
- ・2017 年度大会(中国)学術講演梗概集・建築デザイン発表梗概集 (日本建築学会)
- ・せきさん九州 (会報 2017 年 8 月号) (日本建築積算協会九州支部)
- ・設備設計第 29 号 (福岡県設備設計事務所協会)

上記図書が回覧された。

2) 各種案内

資料-41, 回覧-3

- ・日本建築学会近畿支部創立 70 周年記念事業「関西から考える建築の未来」
- ・第 1 回 FAF スクール「近現代建築の利活用とまちづくり」(福岡建築ファウンデーション)
- ・くまもとアードポリスプロジェクト「熊本県総合防災航空センター」完成見学会 (熊本県)
- ・保全技術研究会・記念講演会 (建築保全センター)
- ・国の機関の建築物の点検・確認ガイドライン (平成 29 年度) の発行並びに講習会 ()
- ・石綿含有仕上塗材の除去等作業における石綿飛散防止対策について (福岡県)
- ・建築リサイクル法パトロール強化週間の協力依頼について (福岡県)
- ・CTL 建築セミナー+現場見学会 (岡山県真庭市)
- ・建築の日本展: その遺伝子のもたらすもの (森美術館)
- ・シンポジウム九州北部豪雨の教訓と地域防災力 (地区防災計画学会)
- ・国際コミュニケーション・フォーラム「ICT×AI×防災・減災」(地区防災計画学会)
- ・2017 年九州北部豪雨災害と今後の対策 (日本学術会議)
- ・「作品選集 2018」への広告掲載について
- ・くまもとアードポリス建築展 2017「一緒に考え、一緒につくる」(熊本県)

上記資料が閲覧された。

3) 後援お礼と報告

- ・FAF スクール報告書およびアンケート結果 (福岡建築ファウンデーション)

資料-42

資料に基づき報告がなされた。

4) 初代・武雄警察署建物について

資料-43

資料に基づき報告がなされた。

IV. 懇談事項

1. 建築九州賞「作品賞」の運営体制について (松尾学術幹事)

資料-44

作品賞の運営について、選考部会と運営部会の 2 部会により運営する体制を軸とした規定 (2017 年 5 月 27 日役員会改) の修正案が資料として提示された。この案について検討が行われ、次回 1 月の役員会の審議事項とすることが決定された。

2. 日韓国際シンポジウムの企画開催方法について (城戸総務幹事)

従来から支所が企画開催を請け負う形で開催されており、支所の負担が大きいことから、支部としてどう参画し得るのかについての問題提起がなされた。これについて、佐藤総務幹事より次年度の大分開催の支部研究発表会でのシンポジウムにおいて、支部が参画する企画について計画を進めている旨の報告があり、これを第一歩として進めていく方向で合意がなされた。

V. 次回会議日程

1. 12 月幹事会

日時: 2017 年 12 月 26 日 (火) 14:00~

場所: 九州支部事務局会議室

2. 1 月支部役員会

日時: 2018 年 1 月 23 日 (火) 14:30~

※文化事業企画委員会：13:30～14:30

場所：九州大学箱崎キャンパス

3. 2月幹事会

日時：2018年2月16日（金）14:00～

場所：九州支部事務局会議室

以上の日程が確認された。